

「夢ワカメ・ワークショップ」について

当法人は、関東地方の港湾・空港について歴史や文化を尊重しながら広く一般市民に交流の場を提供し、その重要性を啓発する活動を行うことにより沿岸環境を保全し、これと調和する豊かな社会の形成に寄与する事を目的として、平成 16 年 7 月 1 日に設立されました。以来今日まで、会員のボランティア活動を中心にして諸活動を行っています。

その活動の一つとして、横浜港海域においてワカメの育成による海水の水質浄化を図る事業としての「夢ワカメ・ワークショップ」を関係機関と合同で行っています。

横浜港においては、海藻類の成長が海水の富栄養化の防止に効果があることから、成長の早いワカメの育成で水質を浄化することによって、港湾及び海辺に対するイメージアップを図る事は、横浜港の活性化に大きく寄与するものと考えています。

このワークショップは、神奈川のを、ワカメを育成しながら子供たちの環境教育・学習の場として活用することで、「子供たちの海への関心が高まること、ワカメの育成を通じて環境改善の大切さや、人と人のつながりの大切さ、おもしろさを知ること」を目的としています。

事業内容

主 催：夢ワカメ・ワークショップ実行委員会

（海辺づくり研究会、NP0みなとサポート、ほか5団体）

場 所：横浜市みなとみらい地区臨港パーク内潮入の池前面海域

実施日：令和7年12月6日（土）（収穫予定日は、令和8年2月14日）

内 容：ワカメの種付け（種糸を生育ロープへ取付け、筏設置）

大竹で筏を組み海域に設置し、ワカメの種糸を参加者とともに育成ロープに取り付け、その育成ロープを海域に設置した筏に取り付ける。

参加者は、団体や個人で小学生や家族連れなど250名の一般公募を行った。

スタッフは、実行委員会の50名位のうち当みなとサポートからは、17名が参加。

筏の組み立て



筏の設置



受付及び個人プレート作成



育成ロープに個人プレート及び種系取付



育成ロープを筏に取り付け完了



※ワカメの生育状況の確認（1 回目、令和7年12月21日）

種付けしたワカメが順調に生育していることを水中でダイバーが確認

